



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 山下 明
- 幹事 寺田 昌平
- 会報委員長 堀川 和士



社会奉仕委員長 田中 正躬

<会長の時間>

手足口病について

・夏からずっと手足口病が幼稚園児を中心に大流行しています、去年の 10 倍とも言われています。そして意外と大人も多いのです。

・この病気は、昔は日本にはなかったのです。1970 年 (S45) の大阪万博の時に、外国から持ち込まれたのだらうと言われ、近畿を中心に大流行しまして、その当時は万博病とも言われていました。コクサッキー A16 というウィルスが原因で、その当時は一度かかればもうかからないし、軽い病気であると言われていました。

正式なネーミングも単なる Hand-Foot-Mouth-disease を直訳しただけの、何とも趣きのない手足口病ということになったのです。

・しかし、その後二度かかる子供もいて、しかも軽症ではなく髄膜炎などで亡くなるケースもあって大騒ぎになり、新しいウィルス、エンテロウィルス 71 によるものと判明され、その後は夏に、この二つのウィルスがほぼ交互に流行する状況が続き、一応二回はかかるということになったのです。

・10 年前位から 3 回、4 回かかる子供もみられるようになり、一体どのようになっているのか。ウィルスの世界も進化というか、安定というバランスが壊れ、混沌としてきたのでしょうか。

・ヘルパンギーナという病気のウィルスであったコクサッキー A6、A10 なるウィルスが手足口病も引き起こすようになり、その結果 3~4 回も手足口病に罹患するケースがみられるようになったのです。

・以前おほとんど大人にはなかった病気でありました。コクサッキー A16、エンテロウィルス 71 に対しての免疫はあっても、コクサッキー A6、A10 の免疫を持ってない大人も多いので、当然かかってしまい、最近大人に多くなっている理由の一つでもあります。

・新しいタイプの手足口病は水疱が大きく、そして治った後 1~2 ヶ月後に手足の爪が剥がれるケースが多くみられ、症状も変化しています。

・手足口病を 30~40 年のスパンで見ていると、ウィルスの世界もいろいろ変化しているというか仁義なき戦いをしながら、どこかで折り合いをつけて共存共栄しているのかなという印象を持っています。



<幹事報告>

◎ガバナーより

・2013-2014 年度 AG 研修セミナー、PETS、地区協議会 報告書

◎美濃 RC 会長より

・第 36 回高インターアクト年次大会について(お礼)

◎国際ソロプチミスト高山より

・新事務局のご通知(2013 年 9 月~2014 年 8 月)

〒506-0055 高山市上岡本町 8-457-12 鍋島 正子(会長) TEL 34-3487

◎光記念館より

・開館 15 年特別展のご案内および招待券・優待券

上松松園と清方・深水~ 期日 9 月 14 日(土)~12 月 10 日(火)

<例会変更>

美濃加茂…… 9 月 20 日(金)は、お月見夫人同伴例会のため 18:00~ シェルホテル美濃加茂 に 変更

9 月 27 日(金)は、濃飛グループ IM 参加例会のため 28 日(土) シェルホテル美濃加茂 に 変更

10 月 18 日(金)は、中山道まつり協賛例会のため 20 日(日) に 変更

可 茂……9 月 25 日(水)は、濃飛グループ IM 参加例会のため 28 日(土) シェルホテル美濃加茂 に 変更

<受贈誌>

(財)比国育英会バギオ基金 (バギオだより Vol. 38)、
社団法人高山市文化協会(高山メセナメイト会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	43 名	7 名	50 名	50 名	100.00%
本日	50 名	—	39 名	50 名	78.00%

ロータリーを實踐しみんなに豊かな人生を

例会報告

＜本日のプログラム＞ お祝い

◎会員誕生日



田中 武 9・17 堺 和信 9.15
洞口 良一 9.14

◎夫人誕生日(当日、ご自宅に花束をお届け)

大村 貴之 真由美さん 9.18
遠藤 隆浩 明日香さん 9.24

◎結婚記念日(当日、ご自宅にお菓子をお届け)

蜘蛛 康介 H14.9.1

◎出席表彰

堀川 和士
7年



◎在籍周年記念表彰

なし

◎3ヶ月表彰

・大村 貴之 ・小田 博司 ・小林 勝一 ・塚本 直人
・寺田 昌平 ・野戸 守 ・平 義孝 ・堀川 和士

交換学生あいさつ

エリザベス・
クリア・コックス

みなさんこんにちは。わたしは今8ヶ月間日本にすんでいます。今はしもやさんといっしょにすんでいます。



先月の17日はみの市へインターアクトの年次大会に行きました。あそこでちょっとかんこうしました。とてもあつかったです。だからかき氷を買いました。おいしかったです。そのつぎの日はわたしは7分のスピーチがありました。ドキドキしました。でも多分だいじょうぶだったと思います。

その次の土曜日はわたしはぎふへりゅう学生のオリエンテーションに行きました。あそこで新しいりゅう学生と会いました。みんなはすごくフレンドリーですぐになかよくなりました。今はオーストラリア人3人とアメリカ人2人とフランス人1人と

ノルウェー人1人がこのちくりにりゅう学しています。

先月225日は1ばん上のおねえさんのこどもが生まれました。かわいい男の子のザックくんです。4360gでした。

先週の月曜日はかがみはらに行きました。友だちのホームステイの所にとまりました。そのつぎの日はかのじょといっしょになごやくこうに行きました。あそこでりゅう学生のみんなとロータリアン3人と会いました。それからながさきに行きました。ながさきに着いたらへいわこうえんに行きました。それからながさきげんぱくしりょうかんに行きました。あそこはとてもかなしい。そのあとはおおてらでんしゅうどうに行きました。すごくきれいなきょうかいです。そのつぎはグラバーえんに行きました。そしてそのあとはうんぜんじごくに行きました。いおうのにおいはつよかったです。でもとてもうつくしかったです。そういう風に3日間きゅうしゅうで楽しんでいました。

ではみなさん、ありがとうございます。

ゲストスピーチ



中部運輸局の観光部門での取り組み(昇龍道)及び

これからの自動車への取り組み

中部運輸局岐阜運輸支局 飛騨自動車検査登録事務所長

榎本 政信 様

「飛騨自動車検査登録事務所」について

飛騨自動車検査登録事務所におきましては一昨年、おかげさまで開設20周年の記念行を皆様のご協力、ご支援の下、挙行することができましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

飛騨事務所設置の動きは昭和40年に高山商工会議所が中心となり陳情がなされたのが最初であったと聞いております。その後高山市及び高山商工会議所が中心となり地元国会議員の支援を得て本格的な陳情が始まり、さらには飛騨地域の当時1市3郡の全市町村が加わって、事務所設置促進同盟が発足、岐阜県も国へ提出する予算概算要求時の要望書に重要施策として明記することでバックアップをしていただき、その後もいろいろな方々に様々な機会を捉え国などに要望、支援をしていただいた結果、開設することができた事務所であります。

奉仕を通じて平和を

例会報告

地元の皆様の強い要望により設立されたこの飛騨事務所・飛騨ナンバーの火を消すことのないよう、今後とも地域に密着した良質な行政サービスの提供に努め、利用者並びに関係者の皆様に愛され、ご期待に応えられるよう全力を傾注して参る所存でありますので、今後ともお力添えのほどをよろしくお願い申しあげます。

「昇龍道」について

平成24年3月、中華圏からのインバウンド数を増進させるために、中部運輸局と北陸信越運輸局が連携して、「昇龍道」プロジェクトを立ち上げました。

「昇龍道」というのは、決まった観光ルートではなく、能登半島を龍の頭に見立てて、中部の観光地を、東海地区から一気に龍が昇っていく様子をイメージしているものであり、中部北陸9県のエリアを総称する名称であります。

このプロジェクトの目的としましては、魅力的な観光資源が凝縮する中部圏を強力にプロモーションし、中部圏が一体となり、受け入れ環境をレベルアップすることにより、中部圏への訪日客数を今後数年で倍増することです。

参加団体は、運輸局のほか中部地方整備局、中部北陸9県の主要自治体、経済団体、観光関係団体、観光関係企業、流通業、報道機関等、平成25年6月末現在で444団体が参加しております。

今までに中国部会、台湾部会という協議会が設置され、それぞれ各部会が3回開催され、また、東南アジア部会も1回開催されたところであります。

主な取り組みを紹介すると、北京、杭州や台北での観光説明会における昇龍道のPR、上海世界観光博覧会や北京国際旅遊博覧会の出展、台北駅での「日本の観光・物産展2013」への出展など積極的な活動を行っております。

また、「昇龍道ウエルカムカード」制度を創設し、昇龍道に訪れた外国人がこのカードを提示することによりいろいろな特典を受けられるようにしたり、その他では、滞在ホテルでの中国語放送の導入、観光施設の案内表示の多言語化等の取り組みも行い外国人観光客のますますの誘致を図ることとしております。

「次世代自動車」について

日本の中で地球環境、省資源などに対する意識が、特に東日本震災後から変わって来たところですが、生活に身近な移動手段である自動車も、環境に優しい、また、特に化石燃料といわれる資源をたくさん必要としない効率の良い車の研究、市場投入が進んで来ているところです。

今年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」における、「エネルギーを賢く消費する社会」という項目の中で、「次世代自動車については、2030年までに新車販売に占める割合を5割から7割とすることを旨とする」ことが示されたところであり、今後は益々次世代自動車の市場投入、普及が加速すると予想されるところであります。

現在、開発が進んでいる次世代自動車には、天然ガス自動車、バイオ燃料対応車、ハイブリッド車、電気自動車などがあり、ハイブリッド車はすでにしばらく前から一般社会で活用されているところであります。

次世代自動車候補としてはいろいろございますが、大きな要件としては、安全であることはもちろんですが、CO2の削減、石油代替性、コスト低減、航続距離の確保、インフラの整備充実等が求められているところです。

その中で、次世代自動車の研究開発には、自動車メーカーや研究機関等が日夜しのぎを削っているところでございますが、ハイブリッド車は多くの新技術や新開発の部品は必要としたものの、基本的には既存のエンジンにモーターを組み合わせたという事で比較的作りやすかったことが市場投入を早めたと言えます。

「自動車の自動運転」について

自動車が自動で単体、追従、隊列走行を可能とするための研究開発が進んできています。車両に搭載されたカメラやレーダーなどの活用や道路施設などからの情報を入手し、周囲の交通環境を把握しながら目的地まで自動で走行するという試みです。

最近、障害物があると自動でブレーキがかかり停止するシステムを搭載した車が市場に出てきましたが、これはある意味自動運転の一部の機能を搭載した自動車と言えると思います。まだまだ、課題は多い研究ですが確実に足下を固めつつある技術であります。

「超小型モビリティ」について

超小型モビリティとは、省エネルギー化に資するとともに、高齢者を含むあらゆる世代に手軽な移動手段、運搬手段として供給し、生活・移動の質の向上をもたらす乗り物と位置づけられています。

私が思うに、将来は自動運転技術との組み合わせで、こういった乗り物に乗り込んで、行きたいところを入力（選択）し、スタートボタンを押すと、移動途中の、例えば見通しの悪い路地や交差点などで、障害となりそうな人々車等が接近してくるような場合には、自動的に徐行したり停止したり、また、交通信号機等と連動して危険を回避しながら安全に走行し目的地まで連れて行ってくれるようになる目が来るのではないかと思います。また、バスや列車にもこの超小型モビリティに乗ったまま乗車でき、長距離移動にも対応するようになるかもしれません。

ここにお集まりの皆様方には、そういった日が来ることをその目で確かめていただきたく、健康で長生きされることを祈念いたしまして、話を終わらせて頂きたいと思っております。

例会報告

<ニコニコボックス>

●濃飛グループガバナー補佐 勝川 生年 様

本日は第2回目のガバナー補佐訪問に伺いました。よろしくお願いいたします。

●山下 明さん

- ・飛騨自動車検査登録事務所長 榎本 政信 様、ご来訪いただきありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。
- ・ガバナー補佐 勝川 生年 様、クラブアッセンブリーのご指導よろしくお願ひします。
- ・9月4日のR情報委員会による新会員オリエンテーション、非常に勉強になりました。脇本委員長さんはじめ、オブザーバーの皆様、ありがとうございました。

●寺田 昌平さん

- ・濃飛グループガバナー補佐 勝川 生年 様の訪問、歓迎申し上げます。例会終了後クラブアッセンブリーのご指導よろしくお願ひします。
- ・飛騨自動車検査登録事務所長 榎本 政信 様、歓迎申し上げます。ご多忙の中宜しくお願ひいたします。

●新田 敬義さん

本日は中部運輸局岐阜運輸支局 飛騨自動車検査登録事務所長 榎本 政信 様をお迎えしました。快くスピーカーをお引き受け頂きありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。

●野戸 守さん

榎本 様をお迎えして。

●堀川 和士さん

- ・中部運輸局岐阜運輸支局 飛騨自動車検査登録事務所長 榎本 政信 様、ようこそおいで下さいました。自動車業界の者として歓迎致します。
- ・出席表彰ありがとうございました。

●小森 丈一さん

- ①勝川ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。
- ②4日のIDMでは、先輩会員は一人も遅れる者は無く、範を示し面目を保つ事が出来、さすがだと思いました。

●ロータリー情報委員長 脇本 敏雄さん

4日夜開催いたしました今年度1回目のロータリー情報委員会新会員オリエンテーションにそれぞれの立場で参加して頂きました皆さん、ご苦勞様でした。お蔭さまで有意義な勉強会でした。会場として使わせて頂いた「京や」の西村さんには大変お世話になりました。有難うございました。

●新井 典仁さん、田中 晶洋さん、山下 直哉さん、

西村 直樹さん、長瀬 達三さん

9月4日に京やで開いていただいた新会員オリエンテーションには、山下会長はじめ歴代会長、幹事さんや情報委員会の脇本委員長、副委員長の方々には貴重な時間を使ってレクチャー頂き誠にありがとうございました。教えていただいたことを肝に命じて今後の活動に取り組みたいと思います。

●内田 幸洋さん

昨日は高山全市の町内会長会に朝9時半から夜7時まで、トンネルとダムと研修会と懇親会と大変な一日でした。脇本さんお付き合いありがとうございました。

●井辺 一章さん

暑い暑いと言って9月に入りました。もう秋です。きのこで頑張ります。

●下屋 勝比古さん

バスが来て一週間。我が家がたいへんにぎやかです。カルチャーショックもポジティブに。

●狭土 貞吉さん

委員長から言語障害、脳トレにニコニコ読み上げが当たりました。読み違い等ありましたら即ご指摘、ご助言をお願いします。

ガバナー補佐ご臨席 クラブアッセンブリー

例会終了後、勝川 生年濃飛分区ガバナー補佐ご臨席にてクラブアッセンブリーを行いました。各委員長による活動状況報告に対し、様々な角度からのご指導を頂きました。

勝川ガバナー補佐、ありがとうございました。

